

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

～ニフレルはベビーラッシュ！～

- ① パルマワラビーの赤ちゃん誕生！母親のポケットから出はじめました！
- ② ふたごビーバーの愛称投票を公式ツイッターで開催
- ③ 絶滅危惧種のミニカバの赤ちゃんが 8 月に誕生予定

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、6月2日にアメリカビーバーのふたごの赤ちゃんが誕生し、愛らしい姿を見せてくれています。また世界最小のカンガルーの仲間「パルマワラビー」の赤ちゃんも誕生し、さらに8月には絶滅危惧種であるミニカバの赤ちゃんも誕生する予定で、2015年11月の開業以来、はじめてのベビーラッシュを迎えています。

- ① パルマワラビーの赤ちゃんが誕生！母親のポケットから出はじめました



母親のポケットから顔を出すパルマワラビーの赤ちゃん

2階「うごきにふれる」ゾーンで、世界最小のカンガルー※の仲間「パルマワラビー」の赤ちゃん(1頭)が生まれました。現在赤ちゃんは、母親のお腹にある育児嚢(いくじのう)と呼ばれるポケットの中におり、1日に数回愛らしい顔をのぞかせたり、6月22日には初めて全身がポケットから出たのを確認しました。

パルマワラビーを含むカンガルーの仲間の赤ちゃんは、大きさがわずか数cm、体重も数gのとても小さな状態で生まれ、すぐに自力で母親のお腹を這い上がり、ポケットに入って育ちます。そのため、赤ちゃんがいつ誕生したのかを確認することが非常に難しく、誕生日をいつとするかは各施設によって異なります。ニフレルでは「ポケットから顔を出した日を誕生日」と定めており、2023年5月31日が赤ちゃんの誕生日となります。ニフレルでパルマワラビーの赤ちゃんが生まれたのは今回が初めてです。

※カンガルー科で最小

《誕生日》2023年5月31日(はじめて顔を出した日)

《性別》現在のところ不明

《大きさ》母親のポケットの中にいるため不明

② ふたごビーバーの愛称投票を公式ツイッターで開催！



愛称を投票で決定するアメリカビーバーのふたごの赤ちゃん

2階「うごきにふれる」ゾーンで2023年6月2日に誕生したアメリカビーバーのふたごの赤ちゃん。両親の愛情をいっぱいを受けスクスク育っており、誕生直後は約500gでしたが、6月26日時点で約1800gにまで成長しました。6月18日には初めてプールで泳ぐ姿を確認したほか、柔らかい枝や葉をかじりだすなど、徐々に離乳が始まっています。日中はまだまだ巣穴の中で暮らしていますが、時折巣穴から出てきたり、じゃれ合う様子などがご覧いただけます。

そこで、飼育担当キュレーターが多くの方に愛され、健やかに成長してくれるよう想いを込めて考えた、4つの愛称案に投票していただく『ふたごビーバーの愛称投票』を公式ツイッターで開催します。

《投票期間》2023年6月29日～7月2日

《投票場所》ニフレ公式ツイッター https://twitter.com/NIFREL_official

《ふたごの見分け方》仮称こげ茶：体の毛の色がこげ茶色で、尻尾の幅が広い

仮称茶色：体の毛の色が茶色っぽく、尻尾の幅が狭い

《愛称発表》7月3日にニフレ公式WEBサイトやツイッターで発表します。

《愛称案》

	愛称案(こげ茶)	愛称案(茶色)	キュレーターの想い
①	ふく	さち	体がふっくらしていること、幸せに育てほしい
②	ナツ	ハル	夏の空のように晴れ渡り、春風のように優しくあたたかな道を歩んでほしい
③	ココア	ソイ	2018年に生まれた3つ子の愛称が『カフェ・ラテ・モカ』だったので、同じく茶色にちなんだ名前
④	ソラ	マメ	空のように広く大きく、また大地からのびのびと育つ豆のように、自然のままスクスクと成長してほしい

③ 絶滅危惧種のミニカバの赤ちゃんが 8 月に誕生予定



妊娠していることが判明したミニカバ「フルフル」

2階「みずべにふれる」ゾーンで暮らすミニカバの「フルフル」が、2023年5月12日に行ったエコー検査の結果、妊娠していることを確認しました。以降も定期的な検査を行っており、胎子の心臓が強く拍動しているのを確認しています。8月中には二フレルで3頭目となるミニカバの赤ちゃんが誕生する予定です。

～ミニカバ担当キュレーターより～

5月12日に胎仔がいることを確認し、順調に成長していることに一安心しております。今回3度目の出産を迎えるフルフルと、生まれてくる赤ちゃんの健康や安全を祈っていただけると幸いです。

④ その他の生きもの情報

二フレルの生きもののフンを食べるフンコロガシの仲間「オオセンチコガネ」を展示中



フンコロガシの仲間「オオセンチコガネ」

「わざにふれる」ゾーンにて、国内に生息するフンコロガシの仲間「オオセンチコガネ」(体長約2cm、5匹程度)を展示中です。オオセンチコガネは、主に哺乳類のフンを食べる「糞虫(ふんちゅう)」の仲間で、国内では北海道から九州まで広く生息しています。生息地によって体の色が異なり、メタリックグリーンやメタリックブルー、ブロンズカラーなど金属色の強い光沢を持つ非常に美しい昆虫です。糞虫の名に似合わない金属色の美しい体色をしています。フンコロガシといえば、ファーブル昆虫記に登場し、前足で逆立ちして後ろ足でフンを転がすユニークな行動で知られますが、「オオセンチコガネ」は前足でフンをつかんで後ろへ引きずりながら巣穴へ運び、自分で食べたり、卵を産みつけて幼虫のエサにします。糞虫が分解したり、地中の巣穴に埋めた動物のフンが植物の養分となって、里山や公園の環境保全に大きく役立っています。

【オオセンチコガネの展示について】

《展示期間》2023年6月25日(日)から展示中

《展示場所》館内1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》5匹程度

《協力》ならまち糞虫館、猪名川町役場、森林ボランティア猪名川町里山倶楽部

本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前、渋谷
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235
MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】平日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】年中無休。※年に1回設備点検のための臨時休館あり。

【施設内容】展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる
合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ「NIFREL×NIFREL」

【交通】大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)

